

みずほCustomer Desk Report 2024/05/10号(As of 2024/05/09)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】				公示仲値	155.66
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	155.39	1.0747	166.93	1.2493	0.6578
SYD-NY High	155.95	1.0785	167.75	1.2527	0.6621
SYD-NY Low	155.16	1.0724	166.77	1.2446	0.6566
NY 5:00 PM	155.47	1.0782	167.59	1.2524	0.6620
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	39,387.76	331.37	日本2年債	0.3100%	0.0300%
NASDAQ	16,346.27	43.51	日本10年債	0.9000%	0.0300%
S&P	5,214.08	26.41	米国2年債	4.8165%	▲0.0221%
日経平均	38,073.98	▲128.39	米国5年債	4.4716%	▲0.0301%
TOPIX	2,713.46	7.03	米国10年債	4.4580%	▲0.0408%
ｼｺﾞ日経先物	38,460.00	15.00	独10年債	2.4965%	0.0370%
ロンドンFT	8,381.35	27.30	英10年債	4.1380%	0.0010%
DAX	18,686.60	188.22	豪10年債	4.3740%	0.0910%
ハンセン指数	18,537.81	223.95	USDJPY 1M Vol	8.77%	▲0.26%
上海総合	3,154.32	25.84	USDJPY 3M Vol	9.36%	▲0.12%
NY金	2,340.30	18.00	USDJPY 6M Vol	9.56%	▲0.13%
WTI	79.26	0.27	USDJPY 1M 25RR	▲0.66%	Yen Call Over
CRB指数	289.99	0.98	EURJPY 3M Vol	8.74%	▲0.18%
ドルインデックス	105.23	▲0.32	EURJPY 6M Vol	9.04%	▲0.19%

東京	東京時間のドル円は155.39レベルでオープン。日銀が公表した4月会合の「主な意見」にて、「円安を背景に基調的な物価上昇の上振れが続けば正常化ベースが速まる可能性は十分にある」などの内容が効派的と受け止められ155.16まで下落するも、仲値にかけて反発。参院での植田総裁の発言も円安の動きをけん制する内容であったが、相場への影響は限定的。155円台半ばを中心に底堅く推移し、結局、155.73レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、155.73レベルでオープン。ドルが全般に堅調で、155.87円でNYに渡った。ポンドドルは、1.2484レベルでオープン。英中銀が正午に政策決定し、予想通り金利据置きだったものの、利下げ票が予想よりも多かったことでポンドが瞬時に1.2446まで下落する場面もあったが、結局1.2471レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は155円台半ばでスタート。東京時間では、日銀4月金融政策決定会合の「主な意見」が発表され、「円安を背景に基調的な物価上昇の上振れが続けば正常化ベースが速まる可能性は十分にある」との文言が示された事を受け、一時円買いが優勢となり、155.16まで下落。しかし、その後は欧州株高の展開等から円が売り戻され、155.87レベルでNYオープン。朝方に発表された米新規失業保険申請件数と失業保険継続受給者数が共に予想を上回った事が嫌気され、米労働市場が減速している思惑からドル売りが優勢となり、155.43まで下落。その後は売り一巡となり、155.70付近まで戻す。午後はデーリー・サンフランシスコ連銀総裁が「今後数ヶ月のインフレ低下の進展は極めて不透明だ」との認識を示すも、特段のドル買い材料とはならず。その後は米金利が低下幅を拡大する動きが重なり、終盤には155.41まで反落し、155.47レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.07台半ばでスタート。じり安での推移が続き、1.0727レベルでNYオープン。午前中は先述の冴えない米失業保険の結果を受け、米金利の低下に伴ったドル売りをサポートとし、1.0780付近まで上伸。午後米金利が低水準で推移する展開が支援材料となり、1.0785まで上値を伸ばし、その後1.0782レベルでクロス。

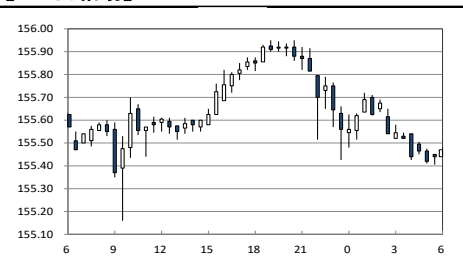
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
5月9日	日	日銀4月会合「主な意見」	金利のパス、織り込みよりも高くなる可能性	
	12:05 中	貿易収支	4月 \$72.35b	\$81.00b
	14:00 日	景気一致指数・速報	3月 113.9	114
	20:00 英	イングランド銀行政策金利	-	5.25%
	21:30 米	新規失業保険申請件数	4-May 231k	212k

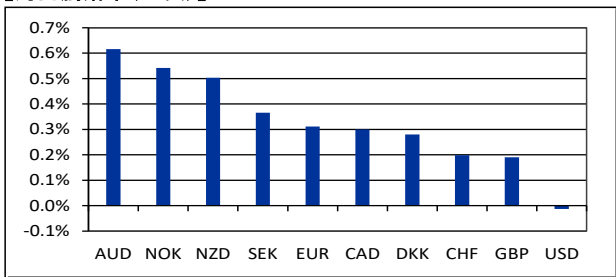
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
5月10日	15:00 英	GDP(前年比)・速報	1Q 0.0%	-0.2%
	15:00 英	個人消費(前期比)・速報	1Q 0.4%	-0.1%
	15:00 英	鉱工業生産(前年比)	3月 0.3%	1.4%
	15:00 英	製造業生産(前年比)	3月 1.7%	2.7%
	20:30 欧	4月11日のECB議事要旨	-	-
	22:00 米	ボウマンFRB理事講演	-	-
	23:00 米	ミシガン大学消費者マインド・速報	5月 76.2	77.2

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	154.80~156.20	1.0730~1.0790	166.70~168.20

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円相場は4月日銀金融決定会合「主な意見」が朝方公表されたことを受けて、日銀のスタンスを巡る思惑からドル円も上下する場面が見られたが、売り買い一巡後は円売り優勢となりドル円は156円近くまで強含む展開。しかしその後は米新規失業保険申請件数が予想を上回る件数となったことで米長期金利が低下、ドル円も155円台前半まで軟化してクロスした。

本日のドル円相場は底堅い推移を予想。デーリー・サンフランシスコ連銀総裁は昨日の討論会でインフレに対する慎重な見通しを示しており、依然としてFRBが早期に利下げに踏み切る可能性は低いと思われる。円安を背景とする日本の物価への影響は注視する必要があるものの、基本的には日米金利差高止まり観測を背景とした円売り地合いが続きそうだ。経済指標では米5月ミシガン大学消費者マインド(速報)が注目される。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。